

相馬の歴史・震災や被災のことも取り上げて下さい



6年目の今年も新成人500名に『憲法』小冊子を配布しました

1月15日付『福島民報』より

本会では、毎年1月の南相馬市成人式会場(ゆめはっ)前で、新成人に日本国憲法全文掲載の『憲法』小冊子を配布しています。2008年1月から始まったので今年で6年目ですが、<右記事>のように1月13日、原発事故のため原町・小高・鹿島区全市合同成人式で配布。今国会では憲法改訂が懸念される中、新成人たち500名は「ありがとうございます」と素直に受取っていました。

「日本国憲法」は、政府の都合で今変えられようとしています。が、「憲法」は元々国民のためのものです。新成人の皆さんには、「無知」「無関心」「不勉強」ではなく、しっかり考えてほしいものです。

新成人に憲法の小冊子を贈る九条の会



「憲法」小冊子配る
南相馬市のはらまち九条の会(平田慶肇会)

はらまち九条の会



新成人ら—新地町

長は十三日、成人式会場の市民文化会館前で、新成人に「憲法」の小冊子を手渡した。「憲法」は昭和四十六年に原町市が発行した冊子の復刻版。憲法全文と教育基本法、児童憲章が書かれている。事務局の井上由美さん、早坂吉彦さんから配った。

※『憲法』小冊子とは、1971年に旧原町市が公費で発行し、当時の全家庭12,000戸に配布したものの復刻版です。

さようなら原発
1000人アクション
脱原発・持続可能で平和な社会をめざして



◇集会発言・講演者◇

内橋克人・大江健三郎・落合恵子・鎌田 慧
・坂本龍一+後藤正文(対談)・清水修二(福島大学教授)・澤地久枝・広瀬 隆・吉岡 斉(九州大学教授・副学長)

- 3月9日(土)11:00~ 東京・明治公園 「つながろうフクシマ! さようなら原発大集会」 15:15~デモ出発
- 3月10日(日)13:00~ 東京・日比谷公園野外音楽堂、永田町一帯 「0310原発ゼロ大行動」 14:00~デモ出発
- 3月11日(月)18:30~20:30東京・品川区総合区民会館 「つながろうフクシマ! さようなら原発講演会」
- 3月23日(土) 福島市・あづま総合体育館 「原発のない福島を! 県民大集会」(デモはなし)
11:00~被災地の民俗芸能 13:00~15:00県民大集会 主催:原発のない福島を! 県民大集会実行委員会

福島再生の可能性はどこにあるか?

●3月10日(日) 午後1:30~4:45(午後1時開場)

●相馬市総合福祉センター(はまなす館) ●参加無料ですが、

「参加整理券」を中島ストア(36-5533)・広文堂書店(35-3138)で配布

●主催:「福島再生の可能性はどこにあるか? シンポジウム2013.3.10in相双」

●後援:新地九条の会/相馬市九条の会/鹿島九条の会/はらまち九条の会/相双教職員九条の会

フーディネイト



池田香代子
ドイツ文学翻訳家

暮らしと自治の現場から

清水 修二
福島大学教授

被災医療の現場から

青藤 紀
医師・福島わたり病院

ふくしまっ子 リフレッシュ in 世田谷

春休み、東京・世田谷区で過ごしませんか?

- 期間:3月26日(火)~31日(日)5泊6日
- 対象:福島県在住のお子さんと保護者(約50名)
- 会場:世田谷区立大蔵第二運動場・老人休養ホーム
- 参加費:大人一人3,000円・子ども一人1,000円のみ
- 共催:世田谷区・世田谷区教育委員会など
- 集合場所:福島市・郡山市
- 申し込み〆切:2月17日(日)
- 詳しい内容のチラシは、「はらまち九条の会」事務局井上へ(TEL 0244-22-7511)

『拝啓東京（関西）電力様』

青田恵子

エアコン止めで、耳の穴かっぽじって、よく聞け。
福島には、「まてい」つつう言葉があんだ。
「まてい」つつうのは、
ていねいで、大切にすするちゆう意味があんだ。
そりやあ、おらどこ東北のくらしは厳しかった。
米もあんまし穫んにえがつたし、（あまりとれなかったし）
べこを飼い（牛を飼い）
おかいこ様を飼い（蚕を養って）
炭を焼き
自然のめぐみで、まていにまていに今まで
暮らしてきた。
原発は いちどこに何もかも奪ちまった。
原発さえなかったらと
壁さ チョークで遺書を残して
べご飼いは首を吊って死んだ。
一時帰宅者は、
水仙の花咲く自宅の庭で
自分さ火つけて死んだ。
放射能でひとりも死んでねえだと……
この うそきやろう 人殺し
原発は 田んぼも畑も海も
人の住む所も
ぜーんぶ、かっぱらったんだ。（全部、盗んだんだ）
この 盗っ人 ドロボー
原発止めれば
電気料金を二倍にするだと……
この 欲たかりの欲深ども
ヒットラーは毒ガスで人を殺した
原発は放射能で人を殺す
おめえらのやっていることは
ヒットラーと なんもかわんねえ。
ヒットラーは自殺した

おめえらは誰ひとり責任とって
詫びて死んだ者はいねえ。

おめえらのような人間さつける薬がひとつだけあんだ。

福島には人が住まんにやくなつた家が（住めなくなった家が）
なんぼでもたんとある。（幾らでもたくさんある）
そこをタダで貸してやつからよ（貸してやるから）
オツカアと子と孫つれて
住んでみだらよがつ（住んだら良からう）
放射能をたつぷり浴びだ牛は
そこらじゅう ウロウロいっぺし
セシウムで太った魚は
腹くつちくなるほど（満腹になるほど）太平洋さいる
いんのめえには（家の前には）、梨もりんごも柿も取り放題だ。
ごんのさらえは（枯れ松葉や落ち葉を拾い集めれば）
飯も炊けるし、風呂も沸く。
マスクなんと うつつあしくてかからしくて
するもんでねえ。
（うつつしいし、わずらわしくて）
そうして一年もしたら
少しは薬が効いでくつかもしんにえな
ほしたら フクシマの子供らとおんなじく
鼻血が どううと出て
のどさ グリグリできつかもしんにえな
ほうれ 言った通りだよ
おめえらの言った 安全で安心な所だ。
さあ、急げ！
荷物まどめて、フクシマさ引越した
これが、おめえらさつける
たつたひとつの薬かもしんにえな。
※（ ）は編集係で付加しました。

青田さんは、南相馬市原町区西町にお住まいでした。原発事故のため遠く、琵琶湖西岸の滋賀県大津市に避難中ですが、講演会などでこの詩を相馬弁で朗読し、被災地の声や怒りを訴え続けています。ご夫婦で本会員。

「それぞれの場所で頑張ります」と語る青田勝彦・恵子ご夫妻



○夫の青田勝彦さんの震災体験『40年間の反原発運動』も、＜本会報175号＞に掲載されています。

「2011年3月14日午前11時過ぎ、原発から25キロ地点の自宅で、「ズシーン」という原発3号炉の爆発音を聞き、怒りと口惜しさの中で知人を頼って大津市に避難。1975年から裁判に訴えてその危険性や事故を危惧し、また東電には地震や津波対策を強く要望してきたのに、東電も司法も一切無視して、今日の事態を招いた」と述べ、事故後の東電の無責任さにも怒りを露わにされています。